

## 第5期介護保険事業計画の内容は

柳川 英司 議員

質問 福生市の高齢化率が20%を超え、今後も高齢者人口の増加が予想されるが、第5期介護保険事業計画の内容及び福生市独自の施策について伺いたい。

市長 福生市は西多摩3市と比較して後期高齢者や要介護2以上の介護認定者の割合が高く、1人当たりのサービス給付費も高くなっている。過不足なく介護サービスを利用いただくために、介護保険法による標準給付をもとに計画を策定している。

また、地域支援事業で介護サポーターポイント制度を導入し、元気な高齢者の人口増を目指していく。



▲福生市介護保険事業計画(第5期)

# 一般質問 (要旨)

## 市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし、3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、8月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧いただけます。

## 東京都防災会議が公表した報告書の内容は

乙津 豊彦 議員

質問 東京都は4月18日、これまでの被害想定を全面的に見直した「首都直下地震等による東京の被害想定」という報告書を公表したが、その内容について伺いたい。

市長 この報告書では、震度や死者数など、従来の想定を大きく上回る被害想定がなされており、福生市も、特に新たに加わった立川断層帯地震では甚大な損害をこうむるとされている。大地震はいつ起こってもおかしくない状況であり、福生市と

しては、地域防災計画の見直しと並行し、被害を最小限に抑える対策を講じていく。



▲首都直下地震等による東京の被害想定報告書

## 7つの目標について

串田 金八 議員

質問 加藤市長が2期目の市政運営に取り組むに当たって掲げた「7つの目標」について伺いたい。

市長 わがまち福生が将来に向かって発展を続け、市民にとって住みよいまちであり続けるようにという思いを込め、「希望に満ちた明るいひとづくり」「だれにもやさしい安全なまちづくり」「潤いのある豊かな暮らしづくり」「安心に満ちたまちづくり」「活力とにぎわいのあるまちづくり」「ともに助け合うま

ちづくり」「市民と行政がともに進めるまちづくり」という7つの目標を掲げた。



▲市庁舎

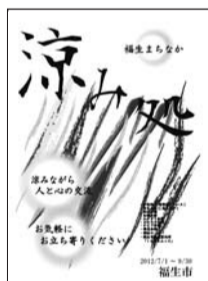
## 夏の省エネルギー対策と電力の状況は

田村 正秋 議員

質問 政府は、7月1日から始まる夏の電力需給対策を正式決定したが、夏の省エネルギー対策と電力の状況について、市としてどのように取り組むのか。

市長 東京電力管内では、照度の見直しとエアコンの設定温度を1度上昇させるといった対応により、ことしの夏は乗り切れる見通しとなっている。市では、家庭での節電への取り組みや、より一層のごみの分別収集への協力をお願いを行なうほか、

昨年に引き続き、7月1日から9月30日まで、市内10カ所の公共施設で「涼み処」を実施する。



▲福生まちなか涼み処案内ポスター

## 福生市内の地盤、地歴は

町田 成司 議員

質問 福生市は地盤がよく、安心安全な地域と思うが、学術的に裏づけ等はあるか。また、過去に水田や田んぼが存在していた等の地歴があれば聞かせていただきたい。

市長 福生市の地盤は、強固な礫層である加住礫層を基盤とした良好な地盤がほとんどを占めており、多摩川沿いの低地においても軟弱層が薄いことから、多摩川下流域に比べて地震動の増幅も小さく、液状化の心配はないと考える。また、多摩河

原土地区画整理事業により、水田地帯であった低地の北田園、南田園地区においても心配ないと考える。



▲昭和35年頃の南田園付近

## 市のイベントで被災地の物販等の協力ができないか

大野 聡 議員

質問 原発の被害を受けた各県では、汚染がなく安全な地域の産物でも、風評被害により出荷が滞っているが、八王子市や東村山市が昨年行ったように、当市でもこれから開催する七夕まつりや産業祭等のイベントの場で果物や農産物等の販売に協力できないか。

市長 風評被害については、一刻も早く安全宣言をするなど、国が責任を持って対応していただきたいと考えているが、福生市としても、イ

ベントにおける被災地物販の販売ブースの提供など、協力していきたい。



▲昨年の七夕まつり(東北の産物を販売する模擬店)

## 市内のスクールゾーンについて、決定・廃止の経緯は

岩崎 百合子 議員

質問 福生市のスクールゾーンは、いつ、どのように決められたのか。また、2校で校門前のスクールゾーンが廃止された経緯を伺いたい。

教育長 本市では、昭和47年春の交通安全運動を契機に、順次スクールゾーンが設定されてきた。福生一中正門前のスクールゾーンは、市道の整備により安全が確保されたため廃止されたが、福生一小東側の一小通りは、一部に時間指定で車両が進入できない規制はあるが、スクールゾーンには指定

されていないと警察より指摘があった。今後、地域のご理解をいただきながら指定の要望を警察に行ってきたい。



▲子どもたちの通学風景